



ななくに峠

〔教育目標〕 教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成

八王子市立七国中学校

令和8年5月19日

七国中だより

5月号

令和8年度 八王子市立七国中学校 学校経営計画〔抜粋〕

(詳細は、学校ホームページに掲載しております)

1 学校教育目標と3つの目指す像

(1) 学校教育目標 ⇒ 「教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成」

(2) 目指す学校像 ⇒ 「生徒や保護者、地域に信頼される学校」

七国中の教職員として真摯に職務に専念することが、信頼される学校づくりにつながる。

- ① 生徒が、学力を高め、自分の個性を生かし、安全に生活できる学校
- ② 保護者・地域が、信頼感をもて、安心して生徒を通わせ、成長が期待できる学校
- ③ 教職員が、指導力を身につけ、常に改善・改革と前進を目指す学校

(3) 目指す生徒像

「知・徳・体の調和がとれる生徒」

- ① よく学び、よく考え、進んで高めていく生徒 (知)
- ② 他を思いやり、いじめをしない許さない生徒 (徳) ◎
- ③ 身体と生命を大切にし、忍耐強く頑張る生徒 (体)

(4) 目指す教員像

『組織力』と『教員力』の向上を常に念頭に置き、真摯に職務を遂行する。

① 組織の一員として職責を果たす教員

- ・教育活動におけるさまざまな取組及び対応は、リーダーを中心に学年体制、全校体制で臨む。
- ・分掌部会や学年会、諸会議等において活発かつ十分に意見交換し、企画調整会議での決定につなげ、職員会議での周知、実行する。
- ・報告、連絡、相談及び伝達系統ラインを徹底し、共通理解のもとで組織的に取り組む。
- ・管理職の指示、企画調整会議や学年会・分掌部会・行事委員会等で決定した内容は、計画的かつ速やかに実践・実行する。
- ・分掌間、学年間等の連携をしっかりと取り、教育活動の円滑な運営を図る。

② 使命感と責任感をもって職務に励む教員

- ・常に研究意欲と向上心をもち、指導力、授業力の向上が信頼度を高めることを意識・自覚して実行する。
- ・使命感と責任感を持ち、教育公務員として服務規律遵守の徹底を図る。
- ・不適切な言動や行き過ぎた指導とならないよう、生徒の人権を尊重し、その感覚を磨く。
- ・生徒や保護者の気持ちに寄り添う姿勢を基本とし、迅速、適切に対応する。

2 中期的目標と重点目標

- ・「目指す学校像」、「目指す生徒像」、「目指す教員像」の3つを基盤として取り組む。
- ・特に「目指す教員像」は全ての教育活動を行う上で、常に意識し、確実に日々実践する。
- ・学校教育目標の中学校3年間での達成を最終目標とする。

3 取組目標と方策

(1) 確かな学力の定着と向上

- ・基礎的、基本的な学習内容の定着と学力の向上に向けて、教員の授業力を向上させる。教材研究や指導方法の工夫改善に努め、授業規律の徹底、指導と評価の一体化に向けての取組を進める。
- ・分かる授業を基本とし、学習意欲が高まる授業を展開する。また、主体的な学習活動など、必要に応じてICT機器・タブレット端末及び学習コンテンツを効果的に活用し、興味・関心を高める指導及び指導の個別化、学習の個性化につなげる。

(2) 豊かな心の育成といじめ防止

- ・人権尊重の精神に基づき思いやりの精神を育む。また、道徳的心情や適切な判断力及び実践力を育成する。
- ・いじめゼロに向けて、思いやりの心と他者理解の心の育成を図る。
- ・命の大切さを十分に理解させ、生きる喜びを実感させる。

(3) 健やかな体の育成と心身の健全な成長

- ・心の健康を維持するために、何事にも真摯に取り組む姿勢を養う。
- ・健康を保持・増進する態度及び、困難な状況を乗り越える気力や体力を養う。

(4) 生活指導の充実

- ・生徒行動指針『み・そ・あ・じ』を意識させ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。ルールやマナーの徹底を図り、自律心や社会性を育てる。
- ・生活指導部の方針を基盤とした組織的な生活指導の実践力を高める。
- ・学校のルールや授業規律の徹底を含めた規範意識の醸成、及び自治の意識の向上を図る。

(5) 特別支援教育の充実、及び不登校対策の推進

- ・特別支援学級（太陽学級）の指導を充実する。特別支援教育の意義と内容をきちんと理解し生徒を支援する。また、教員間の連携と情報共有を密にしながらインクルーシブ教育を推進し、共生社会の考え方を理解させる。
- ・支援が必要な生徒に対しては、様々な関係機関と連携して支援を行う。

(6) 進路指導・キャリア教育の充実

- ・3年間を見通した計画的、継続的な進路指導及びキャリア教育を実践する。
- ・個々の自己理解に基づき、適切な進路選択ができる力を身に付けさせる。

(7) その他の取組

〔1〕小中一貫教育の充実を図る。

- ・小中の教員の授業連携・合同研修や情報交換・共通理解を図り、小中一貫教育を促進する。
- ・年4回の「小中一貫教育の日」を実施する。授業見学や分科会での意見交換・情報交換を行い、各回のまとめを記録し、双方の指導に役立てる。
- ・七国中グループの児童・生徒が中心となり「ユニセフ募金」や「挨拶運動」の合同実施、七国小町探検、七国中合唱披露会等を実施して交流を図る。その取組を学校だより、学校ホームページ等で生徒や保護者に広報する。
- ・6年生対象の中学校授業体験、部活動説明会、中学校生活に向けての準備講演等を実施し、小中の円滑な接続の一助とする。

〔2〕学校運営協議会との相互協力を図る。地域や保護者との連携・協力を図る。

- ・七国小学校との小中合同地域運営学校を充実させ、その取組を推進する。
- ・保護者組織「ななくに会」と連携し、教育活動を含めた様々な場面で積極的にかかわる。
- ・青少対七国地区の活動や地域行事には積極的に参加し、生徒のボランティア精神の涵養と地域の一員としての自覚を育む。
- ・七国地区の豊かな地域資源を活かした地域の魅力、郷土学習を取り入れた「地域連携型キャリア教育」を推進する。

〔3〕教員の働き方改革を進め、仕事の効率化を図る。

- ・ICTの活用やデジタル化、スクールサポートスタッフや副校長補佐、学生インターンシップ等の人材を積極的に活用して業務の軽減、効率化を図る。
- ・「ノー残業デー」を各自で設定し、定時退勤を心掛ける。また、夏季・冬季休業中は学校閉庁日を設定する。
- ・部活動については『七国中学校 部活動方針』及び『七国中学校グループ部活動改革ロードマップ』に従う。各部の活動計画を作成し、生徒、保護者及び管理職に示す。退勤時間を意識し、部活動指導後1時間以内の退勤を目指す。

特別支援教室からのお知らせ

特別支援教室とは、通常の学級に在籍し、在籍学級における学習上又は生活上の困難の改善・克服を図るため、個別の教育的ニーズに対するより適切で効果的な指導を行う教室です。一部の時間、別の教室で指導を受けます。特別支援教室は都内の全公立小・中学校に設置されており、原則自分の在籍する学校で指導を受けます。

特別支援教室の利点としては、一人一人に合った学び方を学習し、各自がもつ力を伸ばします。また、個別の支援を行うことでより有意義な生活の実現を目指します。七国中では、拠点校である梶田中学校から専門の教員が七国中に来て、指導や支援を行います。入級については、八王子市による細かな手続きや条件があります。以下は、七国中の特別支援教室「ぷらす」の紹介です。

☆特別支援教室「ぷらす」の紹介☆

【特別支援教室について】

生徒一人一人の課題や現状に応じて学習や生活の一部を支援することを目的とした指導を行います。梶田中学校『アシスト』より専門の教員が、原則として月曜日と火曜日に七国中の特別支援教室を巡回して指導します。

【特別支援教室専門員について】

特別支援教室設置校に配属されています。専門教員が巡回していない日にも教員と一緒にサポートして下さる方です。七国中の今年度の専門員は 榎本 絵里子 さんです。

【相談について】

詳しい内容を知りたい方は以下の方法を参考に気軽にご相談ください。

- ① 担任に相談する
- ② 特別支援教室専門員に相談する
- ③ 梶田中学校教員の巡回日に相談する
- ④ 拠点校の特別支援教室『アシスト』(042-662-2037)へ連絡する

【特別支援教室『アシスト』より】

梶田中学校特別支援教室『アシスト』では、生徒のみなさんや保護者の皆様が、坂道を上っている時や、一度止まって休んだ後また動き出す時に少しでも楽に進めるような『アシスト』をしていきたい、また、生徒のみなさんがゴールを決めやすいような柔らかい『アシスト』もしていきたい、と思っています。

セーフティ教室

4月20日(月)6校時、「非行防止の精神を養い、非行の防止につとめる」「増加するトラブルを知ることで、自分の状況の確認を行う」を目的に全校生徒対象のセーフティ教室が体育館で行われました。講師として、南大沢警察署生活安全課少年係のスクールサポーターの方2名をお招きして、「SNSによる犯罪・トラブルの危険(オーバードーズなど)」をテーマにご講義いただきました。中学生が陥りやすいインターネットやスマートフォンのトラブル、闇バイト、大麻やオーバードーズの危険性、喫煙と病気との関係性等、話の内容は多岐にわたりました。被害にあわない、巻き込まれないポイントについて詳しく解説していただきました。

【セーフティ教室アンケートより】

1. 今日のセーフティ教室・薬物乱用防止教室で学んだことで、印象に残っているもの何ですか。
 - ・タバコやエナジードリンクなどには体に悪い影響を与えるものがたくさん入っていることや、一度吸い始めると中毒になってしまう場合が多いことが印象に残っています。
 - ・タバコは一度吸うと依存してしまい、やめられなくなってしまうしニコチンがないとイライラしてしまい、吸ってしまうという影響があるということが印象に残っています。
2. 今日のセーフティ教室・薬物乱用防止教室を受けて、これからの生活でどのようなことに気を付けようと思いますか。
 - ・知らない人に会おうと言われてたり、怪しいバイトに誘われたりしたら、周りの大人に相談して信用していいものなのかを見極められるようにしたいです。ゲームの課金をするときは、大金を使わないようにしたいです。成人してもたばこはあまり吸わないようにして、病気にならないようにしたいです。友達などに薬物を渡されそうになったら、きっぱり断りたいです。



体育大会結団式

5月1日（金）、30日（土）に実施される体育大会に向けて、各色団ごとに分かれての結団式が行われました。団の結束と体育大会を盛り上げるべく、意識をもって頑張っていこうという意気込みが感じられる結団式でした。また、応援合戦の練習も始まりました。



黄団



青団



白団



緑団

保護者地域と連携した避難訓練

5月9日（土）の3校時終了後、保護者地域と連携して火災を想定した避難訓練が行われました。放送や先生の指示をしっかりと聞いて安全に校庭へ避難していました。防災頭巾を着用し、ハンカチを用いて口と鼻を覆いながら避難することができていました。点呼・報告終了後に地区班ごとに並び、副校長先生と青少対会長より講評をいただきました。講評後、自治会の方が参加された地区は生徒とともに集合して顔合わせを行い、自治会長より講話をいただきました。ご参加いただきました地域の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



教育実習

5月18日（月）より3週間の教育実習が始まりました。朝礼では、自己紹介とともに志望している教員への熱い思いが語られました。

井出 優花（いで ゆうか 保体、1-1）先生写真右

初めまして。保健体育担当の井出優花です。中高はバドミントンとダンスに熱中していました。皆さんの熱中していることも教えてください！よろしくお願いたします。

小川 みなも（おがわ みなも 美術、2-1）先生写真左

明星大学から来ました小川みなもです。普段は絵を描いたり、版画を作ったりしています。皆さんとお話できることを楽しみにしています。



七国中生の頑張り

5月までに行われた大会等の結果です。[敬称略]

◆卓球部

【令和8年度 多摩地区中学校交流卓球大会】（5/3） 男子団体 優勝

◆陸上競技部

【令和8年度 第77回東京都中学校地域別陸上競技大会】（5/10）
女子西部共通1500m 第6位 長谷川 萌（2-2）

◆茶道部

5月10日に高尾山で開催された「若葉まつり」に本校の茶道部が参加いたしました。参加をした3年生3名は普段のお稽古とは異なる屋外でのお点前で少々緊張気味ではありましたが、大変貴重な経験となりました。

【参加生徒】 3-1 安藤 色花 3-1 尾曾 美弥子
3-3 大箸 睦実

